備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成25年度事業）

事業の概要

事業開始年度				根拠法令・例規等	墓地、埋葬等に関する法律 墓地等の経営の許可等に関する条例 備前市営墓地使用条例	
総合計画	大項目	基本構想	05 生活環境政策「快適・活力」	問合先	担当課（室）	環境課
	中項目	基本計画	09 環境を大切にして未来につなぐまち		職・氏名	衛生係長・國光裕一郎
	小項目	施策	39 斎場の運営と墓地の整備		電話	64-1821
事務事業名			03 市有墓地管理事業	このシート作成に要した時間		時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	墓地区画を必要とする市民
目的（何のために）	市民の墓地需要に対応するため
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	墓地需要を満たす

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
市有墓地施設維持管理事業	市有墓地施設の維持管理を行う。	◎
市有墓地整備事業	市有墓地の区画造成や整備を行う。	○
市債元金・利子償還事業	借入金の償還を行う。	△

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

決算額

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	8,173	8,426	8,440
	必要人員	人	0.14人	0.17人	0.10人
	必要人件費	千円	1,057	1,543	858
	事業費計	千円	9,230	9,969	9,298
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円	2,568	2,172	1,919
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他（　）	千円			
	一般財源	千円	6,662	7,797	7,379
受益者負担比率		%	27.8%	21.8%	20.6%

結果指標

結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
市有墓地の使用許可件数	説明	市有墓地の使用許可件数		
結果指標量	件	6	5	4
対前年比	%	―	83.3%	80.0%
活動コスト	円	9,230,000	9,969,000	9,298,000
単位当たりコスト	円	1,538,333	1,993,800	2,324,500

事業の成果

成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
個人墓地経営許可件数	目標値（A）	0	0	0	0
	実績値（B）	0	3	2	到達目標値
	達成率（B/A）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0

成果指標設定の考え方・式や説明

市営墓地の残区画が少なく、個人墓地の許可申請・問い合わせ等が増加している。
計画的な新設墓地の造成又は、既存墓地の区画造成を行うことにより市民の需要を満たし、新規個人墓地経営許可件数を減らす。

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜　■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

妥当性の評価（市の関与の妥当性必要性 / 市民ニーズ）

- ■ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- ■ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

効率性の評価（コスト手段）

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- □ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ■ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

有効性の評価（目的達成度 / 市民参画度）

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ■ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度（H26年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明

市営墓地の適正な維持管理を行う。
市民の墓地需要は引き続いてあり、伊部地区に墓地を造成するとともに、さらなる整備計画と場所選定を検討する。

総合評価

現在の市有墓地は残区画数が減少しているので、市民の墓地需要に対応するために、区画を造成する必要がある。
備前地域：残区画数 4、日生地域：残区画数 3、吉永地域：残区画数 20
市営墓地の適正な維持管理を行う必要がある。

総合評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

Action

平成27年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標

市民や地区からの要望もあり、引き続き市営墓地の造成整備を検討する。